

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		不妊症・不育症支援事業		事業番号	
担当部署名		子ども青少年 局 子ども青少年育成 部		子ども育成 課	

### I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.2	
		有	取組	妊娠期からの保健指導と乳幼児健診の実施				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画							
3	事業開始年度		平成 24 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		少子化対策プラスワン、次世代育成支援対策推進法、少子化対策基本法					
事業の概要								
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		市内在住の不妊症・不育症に悩む夫婦	対象数	単位			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		不妊症・不育症に悩む夫婦に、適切な情報提供や必要な助言を行うことにより、精神的な負担等を軽減する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師や不妊カウンセラーによる不妊症・不育症相談を実施する。</li> <li>・同じ悩みを抱える方向士の交流や情報交換の機会として交流会を実施する。</li> <li>・支援者を対象に、知識とスキルの向上を目的に講演会を実施する。</li> <li>・特定不妊治療費助成について、令和4年度からの不妊治療の保険適用への移行に伴う経過措置を実施する。</li> </ul>					
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)							
10	公民連携・協働事業							

### II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	不妊症・不育症に悩む夫婦の精神的な負担等の軽減					
	当該目標を設定した理由		不妊症不育症に悩む夫婦の精神的な負担等を軽減することは、治療の開始や治療の止め時など、次の段階につながるため。			
	目標に対する実績		不妊症不育症に悩む夫婦に対して、専門職による助言や適切な情報提供を行っている。			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	不妊症・不育症相談件数	件	令和2年度	令和3年度	目標 令和4年度	
			目標値	—	—	—
			実績値	356	371	
	達成率	—	—			
当該指標を選定した理由		不妊症不育症に悩む夫婦に対して、専門職による個別相談を実施し、精神的な負担の軽減に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		相談件数の増加をめざしているのではないため、目標値は設定しない。				

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	不妊症・不育症支援事業	事業番号	014-012
-------	-------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	165	57	309	60	125,476
13 財源内訳	国支出金	82	28	154	30	514
	府支出金					62,222
	市債					0
	その他 ( )					0
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0
	一般財源	83	29	155	30	62,740
14	人件費 (b)	1,134	984	984	984	1,476
15	年間経費(c)=(a)+(b)	1,299	1,041	1,293	1,044	126,952

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源		
		R3	R4				R3	R4				
16	謝礼金	決算	49	25	会場借上料	決算	0	0	報酬	決算	0	0
		予算	200	100		予算	15	8				
	普通旅費	決算	0	0	扶助費	決算	0	0	印刷製本費	決算		
		予算	33	16		予算	56	28				
	消耗品費	決算	4	2	通信運搬費	決算	125,050	62,525	印刷製本費	予算		
		予算	19	10		予算						
印刷製本費	決算	0	0	通信運搬費	決算			印刷製本費	予算			
	予算	29	15		予算							
通信運搬費	決算	7	3	通信運搬費	決算			印刷製本費	予算			
	予算	74	38		予算							

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		令和2年度	令和3年度
① 不妊症・不育症相談件数	人	356	371
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,041	1,044
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,924	2,814
備考 (算出についての説明等)		個別相談と保健センターにおける相談件数の合計	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>コロナ禍にあっても、市全体の相談件数は増加の傾向である。</p> <p>一般的な相談は区保健センター、専門的な相談は本庁実施の専門家による個別相談と相談内容に応じた窓口を設置し、役割分担をしている。それにより、効率的に相談員を配置することで、効率的に事業実施できている。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>不妊症・不育症に悩む夫婦が相談を受けることで、精神的負担の軽減が見込まれる。</p> <p>特定不妊治療費助成制度が、R4年度以降保険適用となり治療が一般的になったことに伴い、R4年度の相談件数の増加が見込まれる。そのため今後も身近な場 (区保健センター窓口、さらには本庁課直営の個別面接相談) で適切な情報と相談の機会を提供する意義は大きい。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------